

**臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
出生・発達分科会（第26期・第21回）
議事要旨**

1. 日 時 令和7年7月31日（木）9:30-10:50

2. 会 場 オンライン会議（zoom）

3. 出席者（五十音順）

高橋尚人、藤井知行（以上、会員）

船曳康子、水口 雅、水野紀子、武藤香織、米村滋人、島蘭進（以上、連携会員）

笹月桃子（連携会員（特任））

4. 議事録作成者 高橋 尚人

5. 議事概要

（1）日本学術会議シンポジウム

2026年3月に日本学術会議講堂を使用しシンポジウムを開催することとし、3月1日と8日を仮押さえしていることが報告された。今後、委員の都合を再確認し日程を決める。8月中旬までに申請書の提出が必要で、今後、申請書フォーマットを委員に配布するとともに、次第について委員間のメールで検討することとした。

（2）見解案作成の今後のスケジュール

今後、意思の表出のフォーマットを委員長から各委員に連絡することとした。一方、各委員が担当する箇所および見解部分についての文書案と文献を8月19日までに委員長に送ることとした。その後、委員長が最終案を完成し、8月29日の分科会会議で最終的な了承を得る方向とした。

（3）「現代の新生児医療における倫理的意思決定基準および代理意思決定の考え方」見解案の検討

委員長が見解案（資料1）と図（資料2）をもとに、委員から意見があった部分を全員で検討した。今後、それらを参考にして委員長が見解案を修正することとした。「法的側面」の部分については、米村委員の案が水野委員に送られていて、最終的な案ができたなら委員長が確認することとした。「苦痛」部分については、笹月委員から提出された案を取り入れることとした。「早産児の精神運動発達遅滞と神経発達症」は、今後、船曳委員と神尾委員が検討することとなった。「障害」「障がい」「障碍」の文言についても検討すること

となった。

(4) 第 69 回日本新生児成育医学会学術集会シンポジウム

8 月 7 日 18-19 時に打合会を行うことを確認した。それまでに委員長が資料と会議 URL を参加者に送ることとした。

(5) その他

特になし

以上